参考資料１

食の安全・安心に関する情報発信事例
（新潟県畜産振興協議会の取組）

農林水産部畜産課

１　新潟県畜産振興協議会について

県内の畜産関係機関・団体で構成されており、家畜伝染病の発生予防対策強化や生産基盤強化などの取組を支援し、収益性の高い畜産経営の育成を推進している。

また、安全・安心な畜産への理解促進と県産畜産物の消費拡大のため、県民、消費者を対象とした情報発信に多角的に取り組んでいる。

２　令和４年度の「おいしい新潟の畜産チャンネル」を活用した取組

令和３年に畜産課 HP に開設した「おいしい新潟の畜産チャンネル」を活用し、安全・安心な畜産の理解促進と消費拡大のための取組を実施した。

（１）理解促進の取組

・県内の畜産イベント等の情報を発信（10 回）

・県内の畜産現場を紹介する動画「にいがたの畜産現場」を掲載（５本）

「にいがたの畜産現場」視聴回数等　R5.9/30時点

No.	タイトル	概要	視聴回数
1	21世紀の酪農？！ ロボット搾乳のご紹介	搾乳ロボットをはじめとした、酪農の生産現場で活躍している省力化機械等を紹介（協力：畜産研究センター）	3556
2	にいがた和牛 村上牛の品質向上の取組	村上牛の品質向上・ブランド力向上のための取組を紹介 （協力：岩船農業振興協議会）	3106
3	養豚場のご紹介	養豚場の内部や豚肉生産の過程について紹介 （協力：姿農場（十日町市））	8103
4	自給飼料(サイレージ)のつくり方	イネＷＣＳの生産方法について紹介（協力：新潟地域畜産振興協議会）	3074
5	子実用トウモロコシの収穫	子実用トウモロコシの刈り取り風景について紹介 （協力：岩船農業振興協議会）	3443
		合計	21282
		平均	4256.4

（２）消費拡大の取組

・「にいがたの畜産現場」からクイズを出題し、抽選で県産畜産物等が当たる「畜産を学んで当てよう！おいしい新潟の畜産プレゼントクイズ！」を実施

ア　応 募 者 数：4,416 名（県内 680 名（15%）、県外 3,736 名（85%））

イ　当 選 者 数：285 名

ウ　HP 訪問者数：R4.11 月実績 19,318 人（延べ）

（参考：R4.4 月～10 月平均 164.8 人）

エ　年 齢 構 成：～29 歳：15%、～49 歳：47%、50 歳～：38%

オ　情　報　元：県 HP44%、知人 15%、SNS13%、新聞等６%、その他 22%

３　その他の取組

・親子料理教室の開催（(公社) 新潟県畜産協会と共催）

小中学生の親子ペア（10 組 20 名）を対象に、「にいがた和牛」を使った親子料理教室を４回開催し、畜産への理解促進と消費拡大を図った。